

アントレプレナーシップ教育の自律化・自走化に向けて ～アントレ推進大使派遣事業および関連イベントのご案内～

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課

<はじめに>

文部科学省ではアントレプレナーシップ教育（以下「アントレ教育」）を「自ら社会課題を見つけ、課題解決に向けてチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を育む教育」と位置づけております。

これまで文部科学省においては、全国の児童・生徒にアントレ教育の受講機会を提供すべく、起業家等を全国の小・中学校、高等学校等へ派遣して児童・生徒に講演を行うアントレプレナーシップ推進大使派遣事業等を実施しております。こうした取組の下、小・中学校、高等学校等におけるアントレ教育は、総合的な学習（探究）の時間や特別活動等を中心に導入が広がっていますが、アントレ教育の実践事例、授業設計やノウハウが各団体・各現場に散逸しており、確立された教材や手法がないため、現場の教職員、学校等の工夫に依存している状況です。

こうした状況を打破するために、令和7年3月に文部科学省と経済産業省で「ジャパン・アントレプレナーシップ・アライアンス」（以下「アライアンス」）を設置いたしました（令和8年2月現在、地方公共団体、経済団体等の計37団体が参画）。本アライアンスを通じて、学校現場にアントレ教育の実践事例等が共有され、全国各地の学校が情報を得られる仕組みを構築していきます。

▼ジャパン・アントレプレナーシップ・アライアンス
オフィシャルサイト



<https://www.mext.go.jp/entrepreneurship-education/alliance/index.html>

<アントレプレナーシップ推進大使>

文部科学省では、小中高生等及び教職員等に対するアントレ教育の受講機会を拡大するために、「アントレプレナーシップ推進大使」（以下「推進大使」）を外部講師として、全国の小・中学校、高等学校等へ派遣しています。推進大使の派遣に伴う、学校等からの謝金・旅費の支出は不要です。

現在、文部科学省では、約260名の起業家、地域で活躍する方々、そして研究者等を推進大使として文部科学大臣名で任命しております。推進大使からは、児童・生徒に「挑戦する意義」や「失敗を恐れずに行動することの大切さ」といった内容を、失敗に対する向き合い方や自分自身のキャリアの分岐点等の話を交えながら講演いただき、自分らしい「チャレンジ」とは何であるか考える機会を届けます。

令和7年度は、令和8年1月時点で、推進大使を全国の学校等に348回派遣し、約37,000名の小中高生等が受講しております。令和8年度は、推進大使の派遣を年間計750回程度実施（先着順）することを目標としており、引き続き全国の小・中学校、高等学校等での授業にご活用いただくとともに、課外活動や各種イベントのみならず、教職員向けの研修など、アントレプレナーシップの醸成に関するイベント等にもご活用いただけます。

下記に実際の派遣事例の動画リンクを掲載しておりますので、講演の内容、児童・生徒の様子を知る上でもご参照ください。

▼実際の講演時の様子（小学校）



小学校 <https://www.youtube.com/watch?v=APa6HBB0wkM>

中学校 <https://www.youtube.com/watch?v=Fk7jdYVWPwA>

高等学校 <https://www.youtube.com/watch?v=lcHedeJiEck>

児童・生徒へアントレ教育の受講機会を提供するきっかけとなるほか、教職員、教育関係者の皆様も研修等でご活用いただくこともできますので、是非申し込みをご検討ください。

▼アントレプレナーシップ推進大使派遣事業について

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/mext_00009.html



<文科省主催イベント>

令和8年3月20日（金・祝）に教職員、教育関係者を対象とした文部科学省主催イベント「MEXT 春のアントレ祭! 2026 - つながる・学ぶ・高め合う、教員のための祭典 -」（以下「イベント」）を現地参加（Tokyo Innovation Base（東京都千代田区））とオンライン配信のハイブリット形式で実施いたします。

アントレ教育の継続的な受講機会の提供に向けては、冒頭で触れたアライアンスの機能強化、推進大使派遣に加えて、アントレ教育の自律化・自走化に向けた取組が必要です。

本イベントでは、教職員、教育関係者の皆様がアントレ教育の本質を学び、全国の実践知を共有し、既存の取組の質を向上させることや、主体的に各現場で実施することを狙いとして、次のようなプログラムを用意しております。

- ・ 基調講演:「Global Teacher Prize 2019」トップ10に選出された、立命館小学校教諭 正頭英和氏より教育の現場目線からアントレプレナーシップの概念、具体的な実践方法を語っていただきます。
- ・ アントレプレナーシップ教育アワード: 全国から

選ばれた先進的なアントレ教育の事例を顕彰し、選出された教員による実践事例のピッチを予定しております。

- ・ パネルセッション: 教育プログラム、組織マネジメントの2つの観点から、アントレ教育の実施・拡大に何が必要か語り合うセッションを実施いたします。
- ① 「やりがいのある問い」が生まれる学習環境のデザイン ～学習科学から紐解くアントレプレナーシップ教育の仕掛け～（モデレーター: 青山学院大学教授 益川弘如教授）
 - ② 先生が変われば、学校は変わる ～教員の「アントレプレナーシップ」を引き出す組織マネジメント～（モデレーター: 茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校 生井秀一校長）
- ・ 教材・資料展示ブース: 授業で即活用できる教材の展示や全国の教育実践資料の配布を行います。その他、イベントの後半には参加者同士がアントレ教育を進めていく上での悩みやアイデアを共有する時間を設ける予定です。教職員の皆様が他の教職員から刺激を受けて、自身のアントレ教育をアップデートいただき、また、個々の現場で奮闘する教職員、教育関係者のネットワークを広げることで、全国的なアントレ教育の協同を醸成してまいりますので、是非、熱意溢れる皆様からの申し込みをお待ちしております。



▼申し込みはこちらから

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/mext_00009.html



<おわりに>

アントレ教育を精力的に実施いただいている教職員、教育関係者の皆様のご尽力により、着実に

学校現場での導入が広がっております。文部科学省では、アントレ教育の更なる認知拡大に向けて今回紹介したような施策を実施していきます。教職員、教育関係者の皆様におかれましては、これらの施策やイベントなどに積極的にご参加いただき、児童・生徒に何を身につけてもらうか、将来に向けてどのようなアントレ教育を進めていくか等を検討する機会としても活用いただけますと幸いです。アライアンス、イベント等により生まれたネットワーク等を活用いただき、関係者間で連携を深めつつ、未来を担う若者にアントレ教育を届けていきましょう。